

時間	内容	登壇者 (敬称略)
----	----	-----------

13:30

開会挨拶



日本財団 会長 笹川 陽平



香川県 知事 浜田 恵造

司会



フリーキャスター 伊藤 聡子

13:40

基調講演

『～海洋ごみに関する最新の科学的知見と影響～』

14:05

海洋ごみとはどのようなものか、何が問題となっているのか。東京大学と日本財団による共同調査事業にも言及しながら、最新の科学的知見をご紹介します。



東京大学 大気海洋研究所 教授  
海洋アライアンス連携研究機構 副機構長  
道田 豊



14:05

現場中継

『海洋ごみによる危機～現場からの報告～』

14:20

海洋ごみがもたらしている被害、海洋ごみの発生実態を、実際の現場から生レポートします。

高松市瀬戸内漁業協同組合 男坂 勝 / 岡山市立御南中学校 / 一般社団法人E.Cオーシャンズ 代表 理事 岩田 功次



14:20

報告

『対策に向けて～海洋ごみの実態～』

14:50

「なぜ海洋ごみは発生する?」「海の中はどうなっている?」「空から見たら?」陸・海・空で実施した最先端調査から海洋ごみの実態に迫ります。

- ① 『瀬戸内における海洋ごみの発生源 河川流域での調査』
- ② 『最先端調査でわかった海底・漂着ごみの状況』

陸

①

日本財団 海洋事業部  
シニアオフィサー  
塩入 同

海

②

海洋研究開発機構  
情報エンジニアリングプログラム  
プログラム長  
石川 洋一

空

②

(株) 天の技  
代表取締役社長  
工藤 裕

休憩 (10分間)

15:00

トークセッション

『異分野セクターによる挑戦』

企業、学生、文化、スポーツ、市民等、様々な分野の皆さまから、その人“ならでは”の海洋ごみ対策の取り組みを、実演やVTR・写真を交えて紹介します。

15:40

— 新作“海ごみ”落語 by 鈴々舎馬るこ —

落語家。山口県防府市出身。ラジオ文化放送「くに来るジャパン極」レポーター、BS日テレ「笑点特大号」若手大喜利レギュラー等、多方面で活躍。

- 登壇者
- 学校 山陽学園中学校・高等学校 教諭 (地歴部顧問) 井上 貴史と生徒
  - 企業 リファインバース(株) 常務取締役 加志村 竜彦
  - メーカー 兵庫県靴工業組合
  - スポーツ (株) 大分フットボールクラブ (大分トリニータ) 渡邊 浩平
  - 市民 京都大学フィールド科学教育研究センター准教授 伊勢 武史
  - デザイン 東京大学海洋教育センター 特任講師 / 一般社団法人 3710Lab 主宰 田口 康大  
※福山市立橋の瀬学園の教室から海のデザイン教育の授業風景を生中継します

特別実演



フリーキャスター  
伊藤 聡子



NPO 法人グリーンズ理事  
編集長  
兼松 佳宏

15:40

トークセッション

『瀬戸内オーシャンズXの展望』

15:55

シンポジウムを振り返りつつ、今後どのような取り組みを実践していくのか。ジャーナリストや研究者とともに座談会形式で考えます。



日本財団 常務理事  
海野 光行



NHK 松山放送局  
記者  
勅使河原 佳野



愛媛大学大学院理工学研究科  
生産環境工学専攻  
環境建設工学コース  
日向 博文

15:55

閉会

瀬戸内オーシャンズX推進協議会 会長 木村 土郎

16:00

終了